

# 草津市立クリーンセンター更新整備事業に 係る環境影響評価準備書

## — 説明会開催結果概要 —

回	日時	対象市域	対象地区	会場	参加 人数	記載 頁
1	7月12日(金) 19:00~20:30	草津市	志津	草津市志津市民センター 大会議室	3名	1
2-1	7月13日(土) 13:00~14:30	草津市	志津南①	草津市志津南市民センター 大会議室	5名	5
2-2	7月13日(土) 15:00~16:30	草津市	志津南②	草津市志津南市民センター 大会議室	2名	7
3	7月26日(金) 19:00~20:30	大津市	上田上学 区	大津市上田上市民センター 大会議室	9名	10
4	7月27日(土) 10:00~11:30	大津市	青山学区	大津市青山市民センター 大会議室	4名	14
5	7月29日(月) 19:00~20:30	栗東市	金勝学区	栗東市コミュニティセンター金勝 大会議室	13名	18

環境影響評価準備書に関する説明会 議事録（草津市 志津地区）

1. 会場・日時 草津市志津市民センター 大会議室  
平成 25 年 7 月 12 日(金) 19:00～20:30

2. 主な意見・質問

(1. 事業概要について)

- 志津小学校の騒音が現況、予測ともに基準を超過することへの対応は？

- ・別のルートのかがやき通りを使用するか？
- ・志津小学校付近は、右折車が多いと車が並んで渋滞する。

→ 事業者

リーフレット P 7 の保全措置に示す通り車両の通行ルートから除きます。  
詳細なルートは施工業者が決まってから設定しますが、時間帯の調整等の対応を考  
えています。

- 着工予定日はいつか？

→ 事業者

平成 27 年度当初に施工業者と契約したと仮定して、設計期間が約 6 か月程度必要  
なため、工事着工はその後になる見通しです。  
(設計から工事完了まで 3 年かかる予定)

- 施設の諸元が決まっているが、施工業者も選定済なのか？

→ 事業者

技術的には、クリアできる数値等を示しています。それらを建設できるプラントメ  
ーカーを選定する予定です。

- ダイオキシン類については、能勢町では（排ガスの）冷却水が漏れたことが汚染の  
原因と聞いているが、雨水等と一緒にダイオキシン類が漏れ出さないことが必要であ  
る。

→ 事業者

本施設では、空冷方式も採用していますし、燃焼制御をしっかり行い、ダイオキシ  
ン類の発生を抑制していますので、そのような心配はないと考えます。  
また、施設の管理、点検を適切に行いリスク管理を徹底します。

(2. 予測評価結果、事後調査計画説明について)

- 滋賀県では、大阪市のように排ガス規制等のステッカーを貼った車両の使用ではないと思うが、本工事ではどうなのか？

入札の場合に低排ガスを条件に入れるか、古い車両を（青のステッカーを貼って）使用するのか不明であるが、市の直営車両は率先して低排ガスを積極的に導入する等してほしい。

→ **事業者**

車両は通常の車両で予測しています。現在はハイブリッド車の導入はありません。今後は、ごみ収集車両も低排ガス車やハイブリッド車を導入していきたいと考えます。少なくとも市の委託車両は低排ガス車等に切り替えていく方向で考えます。

- 本日、出席している住民3名の意見だけでは後で別の意見がでるとよくないので、全戸へ説明資料を回覧すると良い。

→ **事業者**

全戸配布は考えていませんが、インターネット上では、さらに詳しい準備書も掲載して意見を頂けるようしています。この説明会が終了してからも余部は配布可能です。

- ダイキンの地下水についてのトリクロロエチレンの問題は継続しているが、馬場町だけでなく流向によっては、岡本町の伯母川へも流れるのではないかと。

→ **事業者**

クリーンセンター内でも地下水からトリクロロエチレンは検出されていましたが、今はND(定量限界未満)近くに下がっているものの、問題は持続しているものと認識しています。

本事業でも事後調査で地下水水質は調べていきます。

- ごみの分別の徹底をさせたり、昭和60年頃にビニール(ナイロン)を燃やさないようにしていたが、今後、その対応の安全性に説明が必要ではないかと。

ビニール類を混焼すれば炉はカロリー上昇で傷みやすくなっているのでは問題ではないかと？

住民にその説明をすればよいと思う。(次回の建替えも見据えた上で)

また、30年後に若い人たちが同じ問題を抱える(昔、志津の地区運動会が中止になったことがある。)

→ **事業者**

炉の構造もレベルアップしていて、燃焼温度も高くして、電気集塵機(E P)から

バグフィルター（BF）に変わりダイオキシン類対策をしています。

炉の耐用年数も長くなり（昔は 20 年が今は 30 年と延びている）ので、安全性は向上しています。

○ 岡本町の測定地点がない。

→ **事業者**

ピンポイントで予測するわけではなく、予測は調査地点での測定結果により面的に行うので、問題ありません。

○ パッカー車の臭い汚水は雨水で流れてどこへ向かって雨水排水となるのか？

→ **事業者**

今の雨水の流れとは違う方向へ流れるもので、汚水系はクローズド（場外放流なし）としているので、下水道へ放流します。

○ 今の収集業者はA業者のみか？（以前、車両の洗車排水が伯母川へも流入していた）

→ **事業者**

市でも指導はしていて、問題は概ね解決しています。

○ 施設稼働は以前聞いていた平成 28 年度か？

→ **事業者**

少し遅れていて平成 29 年度中を目指しています。

○ 現グラウンドは無くなるのか？代替地はないのか？

→ **事業者**

現在、検討中です。

○ 工事中の濁水の対応が書いてあるが、工事中だけか？

→ **事業者**

工事中の濁りについては、沈砂池や処理プラントで対応して、処理水を流す予定ですが、供用時は表層水のみであり、濁水の発生はありません。

○ グラウンドの土壌汚染は問題ないか？

（地歴や地形からは問題ないと考えるが）

→ **事業者**

今回、調査しましたが問題はありませんでした。

○ 今の状態で、雨が降った時に濁水がどこへ流れているかをしっかりチェックすべきである。

→ガソリンスタンドの横から草津川へも入っている。(上手く草津川へ流れ込むよう県道路課へ側溝の浚渫?の要望を出しているところ。)

→ **事業者**

流れを確認します。

○ 水質は、大気、悪臭（煙突からの煙）とは違って、感覚的に分かりにくいので、しっかり調べてほしい。

→ **事業者**

分かりました。

環境影響評価準備書に関する説明会 議事録(草津市 志津南地区①)

1. 会場・日時 草津市志津南市民センター 大会議室  
平成25年7月13日(土) 13:00~14:30
  
2. 主な意見・質問
  - (1. 事業概要について)
    - ごみ処理施設規模が150 t/日から127 t/日に減る理由は?  
→ **事業者**  
年間のごみ処理量の減少、ごみの減量化により必要な規模は小さくなっています。  
準備書の中でもその根拠は記載しているので、確認願います。
  
    - 古い既存施設を取り壊した後の計画はどのようなものか?  
→ **事業者**  
現時点では未定です。
  
    - ごみピットの容量が1,000 m<sup>3</sup>から6倍の6,000 m<sup>3</sup>になった理由は何か?  
→ **事業者**  
ピット容量を大きくすることで、ごみの連続焼却運転ができるように改善されているものです。
  
  - (2. 予測評価結果、事後調査計画説明について)
    - 市の工事の予算はいくらか?  
→ **事業者**  
約100億円事業と見込んでいます。
  
    - 地域の南側に志津南小学校があるが、交通事故対策はどうか?(信号を避けて団地内を車が通っていて危ない。)  
→ **事業者**  
工事業者が決まり次第、事前に工事説明会を設けて安全対策を協議する予定です。
  
    - 事後調査計画について、大気ダイオキシン類の年4回の調査では少なく、恣意的にならないか?  
→ **事業者**  
インターネット上で年1回の公表を予定していますが、全ての地点で評価すること

は可能です。煙突の排ガス項目のうちダイオキシン類はリアルタイムで測定できませんが、その他指標となる一酸化炭素や塩化水素等の項目は連続測定をして表示や記録することが可能です。

- 騒音・振動の予測結果では、志津小学校前のルートは車両を通さないこととしているが、逆にパイン(株)の方へ車両が流れないか？

→ **事業者**

全ての通行ルートに想定される最大の車両台数を入れて予測しており、ご指摘のことは既に加味した予測結果になっているので問題ありません。

- ハイブリッド車はごみ収集車両にも取り入れるのか？

→ **事業者**

現時点では未定です。導入はしていませんが、ハイブリッド車やクリーンディーゼル車を導入していきたいと考えています。

- 事業予定地のグラウンドは今も使えなくなっているのか？

→ **事業者**

今から着工前までは使えます。その後の代替地については、現在、検討中です。

環境影響評価準備書に関する説明会 議事録(草津市 志津南地区②)

1. 会場・日時 草津市志津南市民センター 大会議室  
平成 25 年 7 月 13 日(土) 15:00~16:30
  
2. 主な意見・質問
  - (1. 事業概要について)
    - P2 の上段表中の単位で「Nm<sup>3</sup>」の意味は？  
→ 事業者  
排ガスの体積は温度で変化するので、標準状態に換算した場合の体積を表しています。
  
    - P3 の項目 4 で、現施設の測定結果は新施設の基準値を超えているものがあるが、値を満足できるのか？  
→ 事業者  
新施設の自主基準値は当然満足していきます。
  
    - P3 の項目 3 で、現施設の撤去予定地の跡地利用はどうなるのか？  
→ 事業者  
現時点では未定であって、今後検討していきます。
  
  - (2. 予測評価結果、事後調査計画説明について)
    - 臭気指数の測り方はどのようなものか？  
→ 事業者  
臭気判定士が空気袋で採って、臭いがしなくなるまでの希釈倍率を対数表示したものです。
  
    - 今の悪臭の状況はどうか？  
→ 事業者  
P8 の現況にあるように検出限界以下です。
  
    - 地下水について、施設の基礎杭を入れるのか？ その場合の影響はないか？  
→ 事業者  
地表から 18m の深度まで地下ピット掘削は予定しています。杭打ちはあると考えていますが、そこまでの深度ではなく、ピット底盤の深度で評価しています。事後調査

でも監視する予定で、地下水環境基準で評価していきます。

- 周辺の飲用地下水の調査はやっていないか？

→ **事業者**

過去の調査の中で井戸のある位置は把握していますが、飲料に利用している井戸は確認されませんでした。

- プラントの施設の諸元は誰が決めているのか？

→ **事業者**

プラントメーカーから参考となる設計図書を徴取していて、その内容を参考に設定しています。

- ごみ焼却施設の規模は、127 t/日で現施設より減っているが、能力は問題ないか？

→ **事業者**

将来人口や原単位から推計して余裕をみています。

- 焼却灰は大阪湾（フェニックス）へ行っていると思うが、どのような分析をしているか。

どのように減るのか？

→ **事業者**

焼却灰はこれまでの実績では、焼却量の約 10%程度となっています。ごみの再資源化を行い、埋立量を減らしています。

- 可燃ごみに混ざっていて、焼却しても灰として残るのは何があるか？（例えば園芸に使った土などか？）

→ **事業者**

紙なども資源化していて焼却量は減らしています。

土は残土などに利用、生ごみ、剪定枝などは堆肥化への移行を推進して、埋立量の削減を進めています。

事業者からの紙などは、再資源化していくように指導をしています。

- 若草地区は緑化率が高い。剪定枝も多く、水分が高くなると焼却時のエネルギーを使うと思うが、業者から発生する剪定枝は堆肥化しているとも聞く。燃やすごみにしない方向もあるのではないか？

→ **事業者**

確かに貴重なご意見であり、チップ化した剪定枝を草木の根元に撒くような取り組

みもあります。

- そのように、燃やさない方向の処理には市民も協力する。(月 1 回でもリサイクル対象としての剪定枝の回収日を設けることなどもよい)

→ **事業者**

意見として承知しました。

- 焼却炉の燃焼温度は？

→ **事業者**

800℃以上が必要で、850～900℃くらいで安定燃焼させます。

- 普通ごみに入っていてはいけないものはどんなものがあるか？

→ **事業者**

長いもの (50cm 以上) はダメ (炉に供給すると目詰まりを起こすため)、その他、鉄製パイプ、コンクリートブロック等があります。パッカー車の中で破裂して火災を起こすスプレー缶なども良くないものです。

- 分別方式が変わっている (可燃ごみのうちのプラスチックごみを仕分け) が、プラスチックを燃やすことでも炉は耐えるのか？

→ **事業者**

今の炉はプラスチックでも燃やして問題なく、炉も傷まずに排ガスも基準を超えずに上手く処理できています。(年間 2,400 トンのプラスチックごみの 1 / 2 はリサイクルできていましたが、市民の方に分別排出していただき、今では 90% 近く資源化でき、センター内での手間が大きく省けています。)

環境影響評価準備書に関する説明会 議事録（大津市 上田上学区）

1. 会場・日時                    大津市上田上市民センター 大会議室  
                                      平成 25 年 7 月 26 日(金) 19:00～20:30
  
2. 主な意見・質問
  - (1. 事業概要について)
    - 資料に焼却炉は 3 か月以上の連続運転とあるが、施設の連続運転は 2 つでローテーションするのか？あるいは、2 炉とも運転か？  
→ **事業者**  
季節によって異なりますが、2 炉で運転するとごみが不足し、1 炉では焼却しきれないため、ごみ量に応じて 1 炉又は 2 炉の運転を調整します。
  
    - ごみ量に応じて稼働するのであればメンテナンスはどうするのか？  
→ **事業者**  
ごみ量に合わせての運転となるので、その間に応じた炉の停止とメンテナンスを行います。
  
    - ごみは日平均どのくらいの処理量なのか？  
→ **事業者**  
平成 24 年度のデータでは焼却ごみが年間約 33,000t であり、単純日平均では約 90t です。なお、土日は収集しないため、月曜日には多くなります。
  
    - ごみ量は増えるのではないかと？  
→ **事業者**  
ごみ減量を目指して国を挙げて取り組みが進められており、草津市でもここ数年横ばいから減少に転じており、127t/日で計画しています。  
減量を維持することで、この規模で十分足りると考えます。
  
    - ごみ量が減ることはないであろうし、大学の影響もあり増えることは間違いないだろう。  
説明会では良いことを言っているが、他のニュース等でもデータ改ざんなどが言われているなかで、どこまでごまかさずに正しいデータを公表するかが問題である。  
(資料中の測定データも良いデータのみ載せているのではないかと？ 大気質データなどは目にも見えないので心配である。)

→ **事業者**

草津市としてはだます気はまったくありませんが、ニュース等で改ざんや情報提供遅延などが取り沙汰されている今、他山の石として考えていきます。また、リアルタイムのデータ表示やネットでの公開等も考えており、もし、要望があれば施設見学についても対応します（案内用の職員を確保するため事前連絡が必要）。

情報開示については信用して頂けるように努めてまいります。

- 大津市民なので草津市が作る施設であれば文句は言えないが、排ガスの定期的な観測地点は固定されたもので変えられないのか？（上田上にも定点は置けないか？）、予測に基づく設定なのか。頻度はどのようなものか？

→ **事業者**

（資料(パンフレット)の)P3の過去の測定結果は煙突の出口のデータです。モニタリングは後の説明で触れる予定でしたが、事後調査としてP9,10の内容、場所での調査を予定しています。なお、地点の設定は影響がないことを予測した上で、もし、影響があればより鋭敏に判断できる場所を設定しています。

(2. 予測評価結果、事後調査計画説明について)

- 資料のP6で施設の稼働の結果表で長期予測ではダイオキシン類が挙げられており、短期予測ではその場所に塩化水素が挙げられているが、なにか意図があってそうしているのか？

→ **事業者**

法令で設定されている環境基準値が長期予測と短期予測で異なっており、基準がある項目を記載しています。表で同所に記載しているのは省スペースで記載するためのレイアウト上の配置であり、わかりにくいところがあり申し訳ありません。

- 資料のP8で排水は下水道へ流されるとあるが、現施設敷地内の雨水排水は草津川へは流れず伯母川に流れているはずであるが、確認されたい。

→ **事業者**

現施設の雨水排水は調整池を経て伯母川に流れていますが、駐車場から東側の新施設（現グラウンド）の雨水排水は草津川に流れています。

- 土壌の汚染について、新施設予定地には何もないので問題ないが、現施設の撤去時には汚染土壌の影響があるのではないか？

→ **事業者**

新施設稼働が軌道に乗ってから現施設の解体を行います。その際には法に則って解体作業を行うので、汚染等があった場合でも外部への影響はありません。

- 資料の P2 で、ごみピットの容量が 1,000m<sup>3</sup>から 6,000m<sup>3</sup>になっているのはなぜか？  
処理能力に合わせてごみを何日か溜めるためなのか？

→ **事業者**

現施設の当初稼働時(昭和 52 年度)は、日量 90t の処理量で設定されており、平成 5 年の能力増設時にもピットは構造上改修できませんでした。現在の容量では 2 日分の余裕しかなく、効率的な燃焼のための攪拌や安定燃焼のためにごみを多く溜める必要があります、容量を増量しています。

- 資料の P6 で、工事中には上田上には工事車両が通らないとされているが、工事業者の下請け、孫請けにも徹底できるのか（近辺の病院の建設工事の際にも、計画では通らないとしていた道路を信楽からのセメント運搬車両が通行していた例があった。）

→ **事業者**

工事にあたって、工事業者に十分徹底します。

- 資料の P6 で、大気予測などで、予測の数値は現状の数値を伸ばしたものなのか、方法がわからない。

→ **事業者**

現在の状況を測定したものに、新施設の自主基準値（最大値）を上乗せして予測しています。

- 資料 P9 の供用時の事後調査は年 1 回のみか。1 年後はどのように対応するのか。施設は年数が経過するほど悪くなる。

常時観測するのは大気のみか？

煙突排ガスだけでなく、水質（地下水）はどうか。雨水排水はそのまま河川へ流すのか。

→ **事業者**

煙突の排ガスは、ダイオキシン以外は常時観測を行います。さらに、毎年、法に基づき検査機関による測定を実施します。施設の外でも常に見えるよう表示します。

水質（地下水）の影響があるのは、工事中だけと考えます。井戸は周辺からの影響も考えて残しておき、何かあれば測定できる体制とします。その他、施設内で発生した汚水排水は下水道へ接続します。

- ピットの深さはどのくらいか？

→ **事業者**

20 m 以深の掘削は行いません。

- ごみを溜めこんだ時の圧力はどのくらいか？  
ごみを圧縮することで、そこから汚水が漏れたりしないのか？  
→ **事業者**  
最近のごみは水分が減ってきていてピット内に水が溜まることはありません（現状のピットでも水が溜まっています）。
  
- もし、ピット内に水がたまった場合の排水設備はあるのか？  
→ **事業者**  
現施設にも設置されていますが、使ったことはありません。
  
- パッカー車から汚水が漏れている場合もあり、昔、その水を収集運搬業者が側溝に捨てているのを注意したことがある。  
→ **事業者**  
パッカー車には収集ごみからの汚水を溜める設備があり、その汚水は施設のピット内に排水するように指導しています。もし、ピット以外で汚水を流すようなことがあれば、草津市として指導する必要があるなので、遠慮なく連絡して頂きたい。

環境影響評価準備書に関する説明会 議事録（大津市 青山学区）

1. 会場・日時 大津市青山市民センター 大会議室  
平成 25 年 7 月 27 日(土) 10:00～11:30

2. 主な意見・質問

(1. 事業概要について)

- 資料 P2 で、プラント排水について、現施設では循環再利用、新施設では処理後に下水道放流とあるが、プラント排水は再利用しないのか？

→ 事業者

現施設は余熱利用を行っていないため、排ガスの冷却のため、一部プラント排水を利用していますが、新施設では発電を行い廃熱ボイラーで蒸気にして再循環しますので、冷却用の処理水が少なくなることから、プラント排水の一部は再利用できないため下水道放流をします。

- 資料 P5 の調査地点図で、地図には桐生まで範囲に入っているが、青山では排ガス等は影響がないと考えて良いか？

→ 事業者

現況調査では様々な調査を実施していますが、実施前の段階でも意見を頂き、青山小学校でも調査をしています。概要では大気のスルホン酸化物等については特に周辺と変わらない値であり、環境基準も満足しています。

- 平成 5 年から 8 年の大規模改修の際にダイオキシン類が問題になっていた。

煙突が高くなっているのですが、問題ないと思うが、家から煙突が見えており、煙は上に上がっているのですが問題はないと思うが、煙突は必ず立てなければならないのか？

最近の火葬場では煙突のない施設もあるように思うが、どうなのか？

→ 事業者

煙突のない火葬場については詳細に存じませんが、基本的に燃やしていれば排ガスは出ていると思います。市ではごみ量を全体に減らしていく傾向にあり、全体の排ガス量も減少傾向にあります。

なお、ごみ焼却炉は燃やすものが多く、発生するガス量も多いため、できるだけ高い煙突が必要です（高いほど影響が少なくなるため）。

火葬場ではガス量も少なく、必要な煙突高さも低くなるため、建物で見えないものと思われます。

- 資料 P5 の調査地点図には大気質の青山の地点があるが、なぜ p 6 の結果では青山の値が記載されていないのか？

住民としては自分のところが気にかかる。

青山で説明会を行うのであれば、青山地区は草津市の境部分の場所でもあり、そのデータを示すべきであり、その資料は当然準備すべきである。

→ **事業者**

大気質に関しては、全体で 9 カ所調査しています。準備書には全て数値を記載しています。指摘はごもっともですが、リーフレットでは、膨大なデータとなりますので省略しています。

なお、青山地区を含めた詳細データについては、本会場内の大判の資料に示しています。これから、予測評価の説明を行いますので、詳細については、そちらでご確認ください。

(2. 予測評価結果、事後調査計画説明について)

- データがあるのであれば、コピーを頂きたい。

→ **事業者**

後ほどお渡しします。

- 資料 P9 にある供用後の事後調査は年 4 回だけなのか？ この 1 回というのは四季ごとに 1 日のみなのか？

→ **事業者**

季節ごとに各 1 回、年 4 回の予定です。

排ガスは煙突出口でダイオキシン類以外の物質を常時測定しています。それで十分と判断しています。

- 騒音等の予測については他の地域での実例、メーカー等を考慮しているのか？

→ **事業者**

草津市の近くでは、中部清掃組合でも検討した事例があり、我々が勝手に設定した方法ではなく、一般的な予測式に基づき予測しています。

- 住民は素人なので、内容が理解できなくて不安である。(信じるしかないのだが) 煙突からの煙をみて洗濯物を干すか気にする日もある。

→ **事業者**

基本的には国等で設定された環境基準を満足すれば影響がないと判断しています。さらに、今回は、より厳しい自主基準を設定することで影響をさらに低減しています。

一般環境側で常時監視できればよいのですが、何を対象に測っているか分からなくなるので、排出施設側の常時監視がベストと考えています。

煙突からの白く見えるものは、特に冬場において蒸気が見えています。

- 灰が飛んできたといった苦情を聞いたことがある。

→ **事業者**

煙や灰については、焼却施設の構造上、影響を与える可能性はないと考えられます。

なお、煙や灰に関する苦情については、クリーンセンターが原因かどうかに関わらず、受けまますので、遠慮なく連絡して下さい。可能な範囲で、草津市で対応します。

- これまでに他の住民からはどのような意見があったのか。

→ **事業者**

住民からの意見については準備書に記載しています。意見は草津市と大津市からのものが多いです。具体的にご要望の中に地点名があるものは、それを踏まえて大気や土壌の調査地点を設けて実施しています。

- 詳しく説明頂き、個人的には内容について、了承、納得した。ただし、今回の説明会には50～60人が来ると思っていたが非常に少なかった。確か自治会の回覧版で回していたが、回覧が戻ってこないものもあり、十分に周知されていないのではないかと？

- 住民への周知については朝晩のケーブルテレビを使えばよかつたのではないかと？

→ **事業者**

周知方法については、自治会長さんと調整していましたが、不十分な点があったことについてはお詫びします。

- 4日前に説明会を知りましたが、その少し前にテレビで見た例では、焼却炉の影響はないと説明されていたにも関わらず、洗濯物等に灰が飛んできて窓も開けられないといった放送の内容だったので、不安になり今回参加しています。

そこで煙突を高くするのはなぜか？

→ **事業者**

現状より基準値を厳しくしており、現状より悪くなることは無いと考えています。

煙突は高くするほど遠くまで排ガスは拡散して広がりますので、環境への負荷（濃度）、影響は小さくなります。

排出基準値もこれまでより小さくなり、ガス量も減少するために影響は少ないと考えています。

- 現施設を解体する際の汚染対策はどうするのか？

→ **事業者**

現施設の解体については、まだ、具体的な内容が決まっています。なお、解体方法は法律によって厳しく設定されており、跡地の利用方法によっても事業内容が変わりますが、汚染等は外部には影響がないように対応します。

- アセスメントは施設を作る際のものであろうが、解体事業についても具体的な方がわかりやすい。

→ **事業者**

今回の環境影響評価は、施設の更新事業のため、施設の建設工事と稼働が対象であり、解体は別事業として扱っています。解体工事の際にこのような説明の場があれば、改めてご説明します。

- 青山 2、3 丁目は施設までの距離が近いので解体時の影響も心配である。個人では説明を聞きに行きにくいので、青山は近いので、説明会を別途開いてほしい。

→ **事業者**

自治会長さんを通して説明会の要望をあげてもらえば、対応します。現時点では説明会の開催は未定ですが。

- 今日の説明会で、開催したこととなるのか。

準備書の意見箱があることをケーブルテレビで説明してほしい。

→ **事業者**

草津市から直接行うことは難しいですが、要望があったことは連合会長さんに伝えます。ただし、ケーブルテレビに流すかどうかは連合会長さんの判断によります。

環境影響評価準備書に関する説明会 議事録（栗東市 金勝学区）

1. 会場・日時 栗東市コミュニティセンター金勝 大会議室  
平成 25 年 7 月 29 日(月) 19:00～20:30

2. 主な意見・質問

(1. 事業概要について)

※質問は特に無し

(2. 予測評価結果、事後調査計画説明について)

○ 基準はほぼクリアしているが、タカサゴ、ニチコン等の工場の影響で過去に地下水に影響があったが、現クリーンセンターの跡地利用はどのように考えているか？

→ 事業者

現時点では、解体後の跡地利用については未定です。

○ （本日のメンバーは区長が多いが）栗東市との協定について、自主基準値は厳しく設定しているが、大気汚染は煙突を高くすることとしているが、調査・予測地点の設定は栗東市と調整して設定しているか？

→ 事業者

地点の設定にあたっては、事前に調査の実施予定を実施計画書として公告・縦覧して市や住民の方々の意見を聞いたうえで、設定しています。具体的には、施設を中心に、南東の山地部を除いて全方位に配置しています。また、事業予定地と周辺の1年間の調査結果を基に予測しているので、周辺域を全体的に予測できています。

○ 事後調査の地点はこの金勝地区も踏まえて栗東市の条例等を考慮してきめ細かにすることのできているのか？

→ 事業者

事後調査計画も、大気などは調査地点6ヵ所中の3箇所でモニタリングしていきます。煙突出口でも排ガスを常時計測していきます。煙突を高くしてより拡散させて濃度を低くすること、排ガス量を大幅に削減することで影響を抑えています。

測定数値の公表も現状、将来ともインターネットで公表しており、見学も随時、クリーンセンターで受け付けています。

- 今後、厳しい自主基準値を設定しているのだが、その考え方はどのようなものか？（金勝山の裏まで来ないか）また、人口やごみ量の伸びをどうみているかは問題なく公表されるのだろうか。

→ **事業者**

県内外の同規模の他自治体の事例やメーカーへも聞き取りも実施し、現測定値もクリアできることを確認して設定しています。

- 事後調査地点は、この栗東市内でさらに追加できないものか。

→ **事業者**

即答はできませんが、今後検討していきたいと思います。

- 荒張と草津市、大津市の境界部に堂ヶ峰という山があつて、上に春日神社があり、地域の地元民で守っている。年に1回ほど山に登るのだが、その際の参道には赤い杭を打って、道筋を示している。松食い虫等の被害はやむを得ないが、山中を歩いて参拝しているので、山へのダイオキシン類の影響は気になる。

→ **事業者**

煙突のガスもダイオキシン類以外は常時監視しています。ダイオキシン類関連では、一酸化炭素、塩化水素を指標に監視しています。

- プラントを建設するメーカーは既に決まっているのか？（施設は経年劣化すると保証値が守れなくなり、操業を取りやめた施設もある。）

→ **事業者**

メーカーはまだ決まっていますが、実績のあるところに発注することになると考えています。

運転の維持管理もきっちりやっていきたいと考えています。資料(リーフレット)のp 6に記載していますが、ダイオキシン類の予測値は0.014pg-TEQ/m<sup>3</sup>と非常に低い値となっていますが、煙突出口での監視は続けていきます。

- 現施設が操業を開始した昭和52年からの施設の運転状況等の環境測定データは保管してあるのか。（通産省管轄の京都検査所などに、所管する施設のデータを測定している、それを滋賀県とかにすぐに監査が入った時には提示するようになっているはず。）

→ **事業者**

保管しています。ここでは、公的な検査機関で測定したデータを資料に載せていません。

- 実際の予測値と本当の値は違うこともあるので、しっかり測ってほしい。
- **事業者**  
了解しました。
- 跡地利用については、未定ということであったが、現施設のダイオキシン類濃度は  $5 \text{ ng-TEQ/Nm}^3$  とあるが、施設を解体するときにも土壌とかに汚染が残る場合もあると思うがそのままにしておくのか？
- **事業者**  
 $5 \text{ ng-TEQ/Nm}^3$  というのは、排ガスの基準ですので、汚染物そのものを示すものではありません。  
なお、解体する時には、大気や土壌などをしっかり測定して、汚染が見られれば封じ込めなど適切な措置をとります。
- 古い施設の解体時のダイオキシン類汚染はないか？
- **事業者**  
解体工事に関しては、国等の定める解体マニュアルに則り、養生を完璧に行い実施します。たとえば、養生した周囲四方に汚染のない標準土壌を設置し、その値を分析しながら同時に大気も測定し、汚染の漏れがないことを確認しながら工事していきます。工事を実施するゼネコンが作成する工事計画書も第3者が工事管理を行い適切に監視します。
- 汚染物はアスファルトなどで固めるのか？
- **事業者**  
もし、現場内で汚染土などが出た場合には封じ込めしたり、場外で溶融したり適正処理します。
- 草津市は、全て廃棄物を自前の施設で処理できるのか？（施設規模は、 $150 \text{ t/日}$  から  $127 \text{ t/日}$  に減っても大丈夫なのか？）
- **事業者**  
今後の人口はやや増加の予測ですが、減量化やリサイクルの推進により、規模は  $150 \text{ t/日}$  から  $127 \text{ t/日}$  に減りますので、きちんと全量を処理していきます。